

吳

治

儀

木村上清文君

11/10/21

森
上
清
文

拜啓

お元気ですか。　こう君に話しかけるのも随分久し振りで
一体何から書こうかと迷っています。　君の元気な日常
生活は君のお父さんから聞けて居り僕にも自分の事々様
に嬉しいと思いがちです。　本当に日の経つのは早いです。もう
半年以上になつてしまっています。　僕の家へ者も相変わらず病
気知らずには玉の仕事に専念して居ります。　景気があまり
よくないので親父も毎日こぼれています。　そして僕に「よき
もアメリカへ行つたらどうや」と云います。　僕も時々はそんな
気になさる君がうらやましくなる事があります。
今年の正月は君が居ないで一寸淋しい気がしたよ。　思ふ所
光雄も水に小川道代さんと多賀人社へ参拜した。　その時
君が居ない事はとても物足りない気がして。
ではこの辺で僕の家族其他の近況を申しましよう。
父は相変わらずです。　頭は日々になうすくなく行く様ですが、
逆に見る方を増して行く様です。　君のうめさを一番よくします。

暑がりの真がりで昨日までパッチをはき 足袋を脱いだと思つ
 と今日はおもう。上半身は冷かになつたりと云ふ。今年
 の春は都合で川並の山へ行きませんでした。昨日君が早
 しくくれた写真を見ては ぼつかうがっています。

母 〓 此も相変らず。毎日玉通しです。仕事をともしも もうからん
 し。暇もないと文句をよく云います。座つて仕事をすることが
 下腹がふくめて。病気が知らんと心配しています。君の
 話が出る時「お前も英ちゃんの様にはばつてくれんとあかん」
 と僕にくどくど文句を云います。

忠彰 〓 僕同様。君に御無沙汰して居ると思っています。
 会社勤めが一年以上になり 会社へ雰囲気にもなつたり
 慣れてしまった様です。今年四月から受持場が変つて一寸
 忙しくなったのか 近頃はめつたに家へ帰りません。それで
 日々の暮らしが結構 楽しくなっています。たまに家へ帰つて来ても
 君が居ないことが 夫張り淋しい様です。僕と話していても
 「何時 英ちゃんに会えるか知らん」とそんな話です。

相変わらず色白スポーツな美青年です。忠勤については
もっとくよくよく語りたいのですが、いすれ忠勤から手紙を出す
こと、思っていますので、この辺で。

光雄は背は僕より高い位になりません。来年はもう中学二年
業ですから頭をなやまして居ます。もっと勉強すればよい
のにその方はさっぱりです。果して高校へ進学出来
るかどうか心配になります。それでも運動の方は性分に合っ
ているか、野球ばかり一生懸命です。おかげで顔は真黒
で茶髪がわからん位です。陸上競技の方も又新記録を
ねらっています。勉強の方は特に英語が駄目なようで、いつも
僕が聞かせるので弱っています。呉ちゃんが居たらまぐさ
にと残念がっています。

伊藤博は正月に一度帰って来ただけですが、すっかり江戸ッ
子になって人が変わった様に、おとろしくなりました。けれど
やっぱりすっかりは度らずに彼らよところをふせて居ります。
呉ちゃんを送る番が出来なかつた事をとても残念がって居ります。

岡田種一 彼にも最近はたまにか合いません。相変らすひす。
それども本年一月の青年会農村祭には司会なんかにして人を
笑わせたりのいふ事し。

小川道代 二人人についても近況はくわしく知らないでお知らせ
出来ないうが残念です。この四月からは幼稚園の先生と保母
資格を取る為の学校の生徒の二道に大変忙しいです。

正月に帰って来た時に時二人で京都へ行きました。雨が降ったので
すが傘もなかったです。(背は相変らす)

最後は僕の番と云う事になりましたが今年から金堂青年会の
最年長になり本会役員と云うあまり相難くない肩書ももらい
連日頭を痛めております。本年一月農村祭には「次郎安山子」

と云う劇の主役をさせていただきました。君に見てほしかったのですよ。

君が金堂に居る頃は君がびっくりした位黒い顔だったのが今では
うその様に白くなり 忠彰よりもずっと美青年ですか。

近頃安物のカメラを手に入れピンボケる盛んに笑っています。

君の使ったこの鏡付の机は今僕の事務用の机になっています。

この机で君も自分の顔を研究していたのかと思つくと微笑が浮かび
可。ソレが僕も事柄の傍ら化粧に懸念です。

六月も済み田植ももうやら終つた様です。梅雨期の雨はな
だよく降りじめじめした日が続きますが、この頃はとも昔

ッです。そろそろ今どんな気候なんでしょう。

又し振りのよ便りがこんななつたらなる事になつてしまつたと思ふなかつた
のです。ペーパーにはこんななΦしかかけません。これは生る水つぎの

文章下手なものですから甚か井と下さい。鬼は角海一つへびて、

いともよ直に気心の知合つた仲です。大いには頑張りましょう。

今度は何時か会えるでしょう。またその時は君は五派な細工で

よう。僕もうかうかと居らぬせん。早く会つたりますね。

書まつくせない思ひは胸一杯ですが、君に對してペンを持つΦが出来

て楽しく嬉しく思ひます。病氣は何より不幸(孝)です。

健康に日々を送つて下さい。又そろそろニュース知らせて下さい。

ではさよなら。又それよ便りしては氣持のす。

さようなら。 清文

英治 稜